

「学者は噺家であるべし。聴く人に面白いと思ってもらえることを喋らなければダメだ」という恩師・辻彰氏の言葉に強いインパクトを受け研究者の道に。出身校の金沢大、東大を経て、現在東北大薬物送達学教授に就き、確立した「脂溶性の機能性タンパク質の定量分析法」を活用し、新たな創薬研究モデルづくりを目指すのが寺崎哲也氏。ちなみに地元プロ野球・楽天イーグルスをこよなく愛す。「野村ノート」も“愛読書”のようだ。

ズームアップ

東北大学大学院薬学研究科
薬物送達学分野教授

寺崎 哲也氏



東北大薬物送達学教室の皆さん

「研究支える技術」を重視

寺崎氏が薬学を目指したのは、病気を治すのはくすりであり、それに関係する仕事に就くことで世の中に役立ちたいと考えたからだという。その後、金沢大学に進学、4年次に恩師・辻氏の教室に配属された時、辻氏の「学者は噺家であるべし。聴く人が面白いと思ってもらえることを喋らなければダメだ」との言葉に感動。「予想外の言葉」をきっかけに研究の世界へと引き込まれた。その後、東大大学院(花野学教授・製剤学)へ進学、学位を取得後、再び辻氏の下で助手となり、本格的に研究者の道をたどることになった。金沢大で助教授を務めた後、92年に東大で杉山雄一教授研究室の助教授、96年4月からは東北大教授として現在に至っている。各大学を歴任する中、「うちの学生は東北出身者が多いということもあるのか、真面目で寡黙な学生が目につく。すごく光るものを持っているが、積極的にアピールしない、売り込まない気がする」との印象があった。そこで「積極的に喋るようにプッシュします」と恩師の教えを実践している。とはいえ、まずは研究の中身が重要。「特色ある研究を展開し、新領域の開拓を目指せ。発想や着眼点のユニークさが重要なのは当然だが、より重視したいのは研究を支える技術。

教室内〃共同研究〃で新領域へ



寺崎氏

技術改良、新技術の開発は多大なエネルギーと熱意、寛容さが要求される。しかし、努力を惜しまずに取り組むべきである」という。その研究姿勢を表す一つが、研究室の構成

メンバー。薬剤学・薬物動態学をルーツに置くが「モットーとして、できるだけ専門分野が違う人に来てもらう」という。教室の中で「共同研究」が展開している。「学生さんには守備範囲が広く大変ですね」と笑う。

また日常的に留学生らを受け入れ、逆に「一生懸命成果を出したときには、外国の国際学会で発表してもらおう」と、世界基準の研究が進められている。その中で、脳毛細血管内皮細胞の働きを解明する研究に取り組んできた。独自に開発した「条件的不死化細胞株」と「Brain Efflux Index法」を用い、特に脳細胞から血管への排出輸送の仕組みを解明してきた。

「学者は噺家であるべし」を胸に

遺伝子レベルの研究は劇的に進歩しているとはいえ、やはりタンパク質レベルの研究は重要。ただし、ボトルネックとして、タンパク質の発現量を解析する技術開発が進んでいないのが現状。特に、疎水性の細胞膜タンパク質の取り扱いが困難で、世界の誰もがその絶対発現量を測定する技術を開発していない。寺崎氏らは、特殊な環境下で疎水性タンパク質を溶解する手法も含め、その定量分析の技術開発に取り組み、ほぼ完成した。

薬を代謝、運ぶ、くっつける受容体、全ての原点はタンパク質。ところが、例えば人間の肝臓何gに酵素が何個ある、というのほとんど知られていない。レセプターも同様で、これら機能性タンパク質が定量的に正確に把握できれば、現在の医薬品開発、薬物療法も大きく変貌することになる。癌化学療法の大きなリスクも事前に回避することが可能に

難題「疎水性タンパク質」を定量

なるかもしれない。

今後、「この新たな独自手法をテコに脳から全身へ、そして病態解明とその薬物治療にまで研究を展開する」方針だ。そのために小腸、肝臓、腎臓を含む全身での機能性タンパク質の絶対発現量アトラス(地図)を、5年以内に完成させたいという。それぞれの疾患での解析を進める中で、臨床試験の「ブラックボックス」が解き明かされる日が来ることを期待したい。

ところで、楽天イーグルスの話をするときの目は、研究の話とは異なる「煌めき」を放つ。「『野村ノート』の中で、心を揺さぶった言葉は抜き出し、パソコンに入れ、ちょっと元気がなくなった時に読み返します」という。

研究室ホームページ <http://www.pharm.tohoku.ac.jp/%7Etsoutatsu/dds/index.htm>



薬物療法の安全性と地域医療の向上のために...

望星薬局

「薬物療法の安全性、有効性を確保するためにその責任の一端を担い、医薬品の適正使用、薬物療法の改善、向上に寄与することにより社会的使命を果たす」ことを企業理念として掲げております。また、常に業界のリーディングカンパニーを目指し、先駆的な役割を担い、最先端の薬局の創造を心がけ、薬局システム、薬剤師の教育、研究などあらゆる面での新しいものへの挑戦を行っております。

望星薬局ネットワーク

- 望星薬局 〒259-1143 神奈川県伊勢原市下糟屋96-2 TEL.0463(94)4193
- 望星本町薬局 〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原3-2-4 TEL.0463(92)1193
- 望星沼目薬局 〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-16-25 TEL.0463(92)4193
- 望星おおね薬局 〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名1-2-1 TEL.0463(76)4193
- 望星洗沢薬局 〒259-1321 神奈川県秦野市曲松2-1-38 TEL.0463(87)4493
- 望星泰野薬局 〒257-0012 神奈川県秦野市立野台1-2-4 TEL.0463(85)1193
- 望星大磯薬局 〒259-0114 神奈川県中郡大磯町月京30-18 TEL.0463(71)9341
- 望星平塚薬局 〒254-0062 神奈川県平塚市富士見町8-44 TEL.0463(33)1193
- 望星鶴見薬局 〒230-0012 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3-5-15 TEL.045(570)4193
- 望星横浜みどり薬局 〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場1726-13 TEL.045(989)4193
- 望星築地薬局 〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 TEL.03(3541)1193
- 望星代々木薬局 〒151-0052 東京都渋谷区代々木1-3-5 TEL.03(3370)1301
- 望星西新井薬局 〒123-0841 東京都足立区西新井6-46-16 TEL.03(5691)1193
- 望星北浦和薬局 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-9 TEL.048(822)9381
- 望星水戸薬局 〒310-0026 茨城県水戸市泉町2-3-2中央ビル6F TEL.029(222)1193

募集要項
 募集職種：薬剤師資格取得予定者または薬剤師有資格者(修士を含む)
 初任給：※平成17年度年収実績365万円以上(大卒)、385万円以上(修士卒)
 交通費：全額支給
 休日：4週6休、祝・祭日、特別休暇(年6日)、年末年始(6日)、慶弔、有給休暇(10~20日)
 昇給：年1回 賞与：年3回(5ヶ月) その他：各種福利厚生、教育研修、学会発表

株式会社 望星薬局
 本社：〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-1-28
 TEL：0463-91-4193 FAX：0463-91-8966
 URL：<http://www.bohseipharmacy.com>
 ※採用に関するお問合わせ先：人事課/浦本太一郎 E-mail:jijin@bohseipharmacy.com TEL:0463-91-4193